

文化活動の状況

Ⅲ 文化活動の状況

ここでは、市民会館・公民館、図書館、体育館及び屋外体育施設を除く社会教育の諸活動を述べます。この分野には社会教育全般の事務と文化財関係、青少年健全育成関係の事務事業があります。

1 奨励・援助

市民が行う社会教育の活動に対して、要望に基づいて各種の援助を行いました。

(1) 社会教育関係団体の状況

分類	団 体 名	責 任 者	会 員 数	組 織 及 び 活 動
少年 団 体	ボーイスカウト ガールスカウト 福生市連合育成会	森 田 治 男	257人	ボーイスカウト福生第1団 " 第2団 ガールスカウト東京191団 ビーバー隊、カブ隊、ボーイ隊、 シニア隊、ローパー隊 訓練活動(キャンプ)奉仕活動等
成 人 団 体	福生市文化協会	小 林 菊 三	3,557人	加盟団体128 市民文化祭、文化教室、発表会 文化団体の育成活動補助
	福生市公立小中学校 P T A 連 合 会	羽 場 茂	4,189人	加盟団体 10 球技大会、講演会 非行化防止パトロール
	福生市体育協会	井 上 寅 吉	4,516人	加盟団体24 市民総合体育大会、都民体育大会 各種スポーツ大会

2 第33回市民文化祭

(1) 趣旨

ア 市内で行われている文化諸活動の成果の発表の場を作り、今後の発展を図る。

イ 未参加者の文化活動への参加、各種活動の育成を促す。

(2) 主催

福生市、福生市教育委員会、福生市文化協会

(3) 実行組織

実行委員会構成

ア 文化協会役員

イ 出展、出演団体の代表者

ウ 教育委員会社会教育課、市民会館・公民館職員

(4) 期日

10月26日(土)・27日(日)・11月2日(土)・3日(日)・9日(土)・10日(日)・16日(土)・17日(日)

(5) 場所

展示関係 市民会館、公民館、市民会館前庭、さくら会館

演示関係 市民会館大・小ホール、公民館、さくら会館、福庵

(6) 運営方針

ア 同一種目については主管団体が処理する。

イ 個人及び団体、一般からの出展・出演については、すでに主管団体があるものはその団体が、新種目を行う団体はその団体が主管し、個人のものは教育委員会が主管する。

(7) 参加内容の限定

ア 市民の活動であること。

イ 市民を対象とした文化事業であること。

(8) 参加対象

全市民（在住、在学の個人及び団体）とし一人一点に限定

(9) 全般的事項

ア 文化祭実施要綱の決定

イ 開場式 11月2日(土) 午前10時～

市民会館小ホール

ウ 準備過程

(ア) 広報

a 公募5月1日発行の広報ふっさ

申込締切5月31日

b 日程内容の周知

広報10月15日号

ポスター10月初旬

c プログラム5000部

(イ) 案内状 総合プログラムといっしょに実行委員会で送る。

主管団体毎の招待状は各団体で行う。

(ウ) 主管団体必要物品

a 指定様式に記入提出

b その他必要品

(エ) 役員、実行委員を委嘱する。

(オ) 委託料の交付 880,000円

(10) 実行委員会日程

第1回 6月13日(木) 午後7時30分 市民会館第5集会室

第2回 6月26日(水) 午後7時30分 市民会館第5集会室

第3回 7月 4日(木) 午後7時30分 市民会館第5集会室

第4回 9月27日(金) 午後7時30分 市民会館第5集会室

第5回 12月10日(火) 午後7時30分 市民会館第5集会室

(11) 実施内容

平成14年度参加団体

演示 165団体 内行政関係3団体 個人 3人

展示 68団体 内行政関係1団体 個人 6人

計 233団体・個人9人

※ 期間中の延べ参加者数4,019人

3 成人式

趣旨 新たに社会の仲間入りをする成人者を祝い、励まし、成人者が改めて成人する意味、意義を確認しあう場とする。また今後、社会の担い手として、独立した主体者として生活していくための機会とする。

主催 福生市、福生市教育委員会

日時 平成15年1月13日 開式午後1時

場所 福生市民会館大ホール

実施内容 式典・開式、国歌斉唱、主催者挨拶、祝辞、来賓紹介、主催者紹介、福生吹奏楽団による祝賀演奏、担任だった先生からのメッセージ紹介、成人者代表による謝辞、たる酒鏡開き、福生市の歌、

集い (実行委員による企画)・立食パーティー、壁画製作(2.4m×7.2m)

出席状況

区 分	男	女	合 計
対 象 者	367人	347人	714人
出 席 者	273人	233人	506人
出 席 率	74.7%	67.1%	70.9%

4 社会教育委員の活動

社会教育委員

社会教育委員制度は、社会教育法第15条に基づいて設置された市民参加の審議機関であり、当市では昭和37年以来、任期2年定数10名で構成されています。各委員は社会教育全般にわたり調査、研究、計画の立案及び教育委員会からの諮問に、市民の立場から教育長を通じて教育委員会に答申します。

会議等開催状況

開催日	場所	会議名	内容
平成14年4月20日	東京都立多摩社会教育会館	市町村社会教育委員連絡協議会定期総会及び全体研修会	平成13年度事業報告・収入支出決算報告 平成14年度事業計画・収入支出予算 " 役員選出 講演 パネルトーク 「社会教育委員活動のさらなる活性化を求めて」
6月25日	商工会館301号室	社会教育委員の会議	社会教育団体に対する補助金の交付について他
7月11日	東村山市民センター	市町村社会教育委員連絡協議会理事会	平成14年度東京都市町村社会教育連絡協議会ブロック研修会について他
9月2日	五日市地域交流センター	都市社連協第一ブロック研修会	主題 21世紀を拓く子どもを育てる社会支援のあり方 パネルディスカッション 「今、子どもたちの健やかな成長にとって必要なこと、社会教育の果たす役割は何か」
9月19日～20日	甲府市	関東甲信越静社会教育研究大会	主 題 「変動する社会に対応する新しい社会教育のあり方」 分科会 「生涯学習によるまちづくり、家庭教育、青少年教育、自然理解と環境保全、ボランティア活動、人権と国際理解」
11月30日	東村山市立中央公民館	市町村社会教育委員連絡協議会交流大会	第1部 式典 第2部 シンポジウム テーマ 家庭・地域の教育力の現状と未来 演奏会
平成15年1月25日	東京都立多摩社会教育会館	市町村社会教育委員連絡協議会全体研修会	講 演 「地域社会を豊かにデザインする～「等身大のライフエリア」とは何か～」 講 師 山際完治氏（東邦学園大学経営学部教授）
2月20日	中央公民館2階会議室	社会教育委員の会議	平成15年度社会教育計画（案）についてほか
2月28日	東村山市民センター	市町村社会教育委員連絡協議会理事会	平成15年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会「統一テーマ」について他

5 生涯学習について

福生市生涯学習推進計画に基づき、「市民が学ぶ楽しさに気づき、学習活動に意欲的に取り組み、学習成果が多様な分野で生かされ、ゆとりと生きがいのある生活を送れる社会、さらに文化がはぐくまれ、一人ひとりが健康でいきいき輝く社会」となるよう努力をしてきた。公民館、図書館、体育館、屋外体育施設等の社会教育施設は、中心となってその課題を担うものとして計画的に活動してきた。

6 地域まなびあいボランティア登録制度について

平成14年度から学校が実施する教科学習及び体験学習等又は市内の団体等が実施する学習会及び諸行事等を支援できるボランティアを登録してもらい、派遣依頼があったときにボランティア情報を提供した。

登録件数 40件

内訳 趣味・生活11件 文化・芸術15件 体育・スポーツ4件 語学1件 環境・地域・まちづくり8件 その他1件

利用件数 4件

7 文化財保護事業

本市では、昭和48年に文化財保護条例を制定し、その後、昭和54年の改正によって文化財保護行政の充実と強化をはかってきたが、さらに平成3年4月1日から登録文化財制度の導入を行い、より多くの文化財を保護するための行政の推進をはかっている。その結果、平成14年度末では、市登録文化財は60件となっている。また、この市登録文化財の中から、特に貴重な文化財を市指定文化財として保護しているが、14年度末では、市指定文化財は33件となっている。

文化財保護行政の役割は、文化財を文化遺産として後世に伝えるという保存事業と文化財保護思想の普及、さらに市民が文化的向上に資するための資料として活用するという活用事業に分けることができる。これらの事業は、市民一人一人の保護意識が高揚してはじめて成果のあがるものであり、そのため、文化財保護の理解の推進と文化財の活用を目的として様々な学習の機会の設定に取り組み実施した。また、日々進行する地域の開発・都市化とそれに伴う生活様式の変化による文化財の変容と消失が進むなかで、文化財総合調査を行い、所在の確認と記録の作成を行った。

市史の普及事業も文化財保護行政の一つとして実施しているが、平成7年度より市史編纂事業で作成した刊行物（市史本編・上下2巻、資料編・考古ほか10編及び研究誌・17号まで）、さらに市史編纂で収集した近世文書ほかの文献類、マイクロフィルム（179,650コマ）などの保存と管理、刊行物の頒布、情報提供等の業務を実施している。14年度は管理業務、情報提供業務をすすめる一方、普及事業として「市史に関する学習会」、「史跡見学会」等を開催して市史の普及と活用を推進した。

郷土資料室は、文化財保護思想普及の場としての展示活動、文化財保管の場としての文化財の収集、そして収集した資料を情報として市民への提供等の活動を行っている。特に、収集した資料の保管を適正に行い、また、学校教育、社会教育への提供、さらに市民、研究者への情報の提供をより迅速に行えるようコンピューターによる資料管理を推進し、資料の活用として展示を開催した。

なお、平成14年度は特別展1回と展示解説会2回、企画展を3回、常設展を1回開催した。また、普及事業として無形民俗文化財記録映画（ビデオテープ30分）の放映を郷土資料室で行なった。また、来室者のために、展示されていない収蔵資料でも画面で見ることができるよう収蔵資料閲覧システムの利用に供した。

(1) 文化財保護審議会

文化財保護審議会は、市教育委員会の諮問に応じて文化財の保存及び活用に関する重要事項を調査審議し、並びにこれらの事項について市教育委員会に建議するために7人の委員が委嘱されている。

(任期 平成13年7月1日から平成15年6月30日まで)

会議の開催

平成14年8月24日(土)

ア 福生市指定文化財の指定候補について

イ 国の登録文化財について

平成15年3月21日(金・祝)

ア 平成15年度文化財保護事業計画について

イ 平成14年度郷土資料室展示開催状況について

ウ 指定文化財の保存事業について(田村家穀箱見学)

(2) 文化財保護事業の実施状況

ア 文化財総合調査事業の実施状況

古文書調査 — 古文書の整理・分類

民俗調査 — 伝統的な衣生活調査(森田家寄贈ほか)・調査員 萩原紀子氏(郷土資料室臨時職員)

民具調査 — 郷土資料室収蔵の民具を調査・調査員 岡部悦子氏(郷土資料室臨時職員)

イ 玉川上水に発生するホタルの研究委託

昭和46年度以来、玉川上水に自然発生するホタルの研究を福生ホタル研究会に委託している。平成14年度も引き続き研究を委託した。

(3) 文化財保護の普及

ア 市史の普及・学習会

福生市の歴史(近世)

熊川分水を歩く(現地見学会)

平成14年6月22日(土)

講師 峰岸 秀雄氏(福生古文書研究会代表)

福生市の歴史(中世)

多摩の板碑

平成14年9月21日(土)

講師 懸 敏夫氏(日本石仏の会会員)

福生市の歴史(中世)

多摩の石仏

平成14年9月28日(土)

講師 懸 敏夫氏(日本石仏の会会員)

福生市の歴史(中世)

中世城郭を探る・八王子城とその支城

平成14年11月16日(土)(学習会)・11月23日(土・祝)(見学会)

講師 梶 国男氏(多摩考古学会世話人)

イ 古文書学習会

古文書の歴史、解読のための学習会を開催した。

全8回 平成14年5月25日(土)、6月1日(土)、8月31日(土)、
9月7日(土)、12月7日(土)、14日(土)、平成15年3月1日(土)、
3月8日(土)

講師 高崎 勇作氏(福生市文化財保護審議会会長)

(4) 郷土資料室の事業実施状況

ア 資料の収集(購入・寄贈)

購入—古書籍等 15件 184点

寄贈—軍服・地図等 3件 1,006点

イ 資料の消毒

郷土資料室内収蔵庫(第1、第2)内等の消毒を業者委託により、6月24日(月)に行った。

消毒の概要は次のとおりである。

場所 第1収蔵庫(92.6m²)、第2収蔵庫(28.2m²)、北田園倉庫(127.5m²)、
さくら会館内倉庫(38.00m²)、

対象資料及び目的 民俗、歴史、美術、自然資料の殺虫、殺菌、殺卵等

ウ 展示、学習会等の教育普及事業

平成14年度は特別展1回及び展示解説会2回、企画展3回、常設展1回開催した。

(ア) 特別展示

「小峰雨岬 水墨画 没後10年回顧展」

戦後福生で30年に及ぶ制作活動を振り返り、遺された作品を展示した。

期 間 平成15年2月1日(土)から4月6日(日)

展示解説会 平成15年2月15日(土)及び3月15日(土)

講 師 佐田 静氏(三多摩美術家連盟常任委員)

※ 特別展開催にあわせ、初心者水墨画講座を開催した。

第1回 11月3日(日)、10日(日)、17日(日)・12月1日(日)

第2回 平成15年1月26日(日)・2月2日(日)、9日(日)、16日(日)

(イ) 常設展

「近世の人々とくらしー牛浜出水図絵巻一展」

期 間 平成14年4月16日(火)から6月16日(日)

(ウ) 企画展示

「平和のための戦争資料展」

戦争の記憶が薄らいでくるなかで、当時の残された資料を展示し、戦争を見つめ直し尊い平和について考えていただく展示。平成14年度は教師と児童・生徒に焦点をあてて当時の様子と平和への歩みを探った。

期 間 平成14年6月29日(土)から9月29日(日)

(エ) 企画展示

「福生の中世展」

市内に伝わる板碑や熊川地区で発見された埋蔵銭といった福生の中世にゆかりのある資料を展示し、当時の福生を探る展示を開催した。

期 間 平成14年10月5日(土)から12月1日(日)

(オ) 企画展示

「ミキノクチと小正月飾り展」

市内で製作されたミキノクチとアワボ・ヒエボやオッカドボーといった西多摩地方の小正月の飾りものを中心に展示し、伝統的なお正月の風習と人々の暮らしを紹介した。

期 間 平成14年12月7日(土)から15年1月27日(日)

エ 出版物

郷土資料室年報第22号 A4判、57頁、500部

特別展示資料解説書「小峰雨岬 水墨画 没後10年 回顧展」

A4判、47頁、1,000部

福生市の文化財ガイドブック A5版、50頁、2,000部

(ア) 市民、団体、研究者等への情報提供、援助、奨励

文化財の保存と活用に関わる学習、研究等を行っている市民、団体及び研究者、
また文化財に関する情報を必要とする個人、団体等への情報提供等を行った。

(イ) 多摩郷土誌フェアへの参加

多摩地域の各市町村が発刊している郷土誌関係の刊行物を一堂に展示して、紹介と普及を図ることを目的として開催するもので、今回で15回を数えた。(主催は東京都市社会教育課長会・文化財部会)

期 間 平成14年12月6日(金)から8日(日)まで

会 場 立川駅ビル「ルミネ立川店・マグノリアホール(1階)」(立川市)

8 青少年健全育成

青少年が社会の一員として愛され、良い環境の中で心身共に健やかに成長することを目指し、好ましくない環境の浄化に努めると共に諸施策の推進を図っていく。

(1) 青少年問題協議会

青少年問題協議会は、市長の付属機関であり、青少年の健全育成に関する総合的施策の樹立について、調査審議し関係行政機関の相互連絡調整及び意見等を求める機関です。

委員数 27人

日 時	会 議 内 容
7月10日 午後2時から	1 平成14年度福生市青少年健全育成夏季対策事業(案)について 2 平成14年度福生市善行少年表彰について 3 「家庭の日」図画・作文の実施について 4 福生市青少年の意見発表大会の実施について 5 子ども議会(教育委員会版)の実施について 6 関係機関より報告、情報交換
15年2月21日 午後2時から	1 平成15年度福生市青少年健全育成事業計画(案)について 2 関係機関からの報告、情報交換

(2) 青少年育成地区委員長会

地域社会にあって、青少年の健全育成を図るため青少年問題協議会において調整した施策に協力し、地域の実情に応じた事業を実施し、地区委員会相互が連絡・協力して社会環境の浄化を図っていく。

開催日	会議名	会議内容
4月 3日	地区委員長会	第11回ふっさ輝きフェスティバル準備、活動報告、活動計画 他
4月10日	理事会	〃
4月17日	地区委員長会	〃
4月24日	理事会	〃
5月 8日	地区委員長会	〃
5月15日	理事会	〃
5月18日	第11回ふっさ輝きフェスティバル前日準備	
5月19日	第11回ふっさ輝きフェスティバル（多摩川中央公園）	
5月29日	理事会	フェスティバルのまとめと反省 役員体制 他
6月 1日	地区委員長会	新旧地区委員長歓送迎会 フェスティバルまとめと反省 他
6月12日	地区委員長会	フェスティバルのまとめと反省 環境浄化運動、夜間一斉パトロール 他
7月10日	理事会	環境浄化運動、夜間一斉パトロール 視察研修について 他
7月17日	地区委員長会	〃
7月30日	理事会	〃 軽スポーツ&とん汁会準備 他
8月13日	地区委員長会	〃
8月24日	夜間一斉パトロール（市内全域）	
9月 4日	理事会	パトロールまとめと反省 視察研修 軽スポーツ&とん汁会 環境浄化運動 他
9月11日	地区委員長会	〃
9月19日	理事会	〃
9月25日	地区委員長会	〃
10月 2日	理事会	〃
10月 6日	福祉まつり	理事を中心に協力
10月 8日	視察研修	茅野市こども館
10月16日	地区委員長会	視察研修まとめと反省 第10回軽スポーツ&とん汁会準備 環境浄化運動 他
10月23日	理事会	第10回軽スポーツ&とん汁会準備 環境浄化運動 他
11月 6日	地区委員長会	〃
11月13日	理事会	〃
11月16日	第10回軽スポーツ&とん汁会（多摩川中央公園）前日準備	
11月17日	第10回軽スポーツ&とん汁会（多摩川中央公園）	
12月 4日	地区委員長会	軽スポーツ&とん汁会まとめと反省 成人式 他
12月11日	理事会	環境浄化運動 成人式 講演会 他
1月13日	成人式出席、祝い酒コーナーの実施、新年会	
1月25日	講演会	「少年相談から見た 子供の心 親の心」
2月 6日	理事会	環境浄化運動 成人式のまとめと反省 来年度事業計画 他
2月12日	地区委員長会	〃
3月 4日	理事会	第12回ふっさ輝きフェスティバル準備 討論会準備 補助金事務手続き 他
3月13日	地区委員長会	〃
3月15日	理事会	「フリートーク！～ここがへんだよ大人たち～」

(3) 青少年育成地区委員会実績

地 区 名	委員数	児童生徒数	主 な 活 動	補助金額
熊川住宅	13	70人	ラジオ体操、もちつき大会ほか	47,970円
南	14	79	夏祭り、ふれあい広場ほか	49,830
内出	18	101	ミニ運動会、もちつき大会ほか	54,380
武蔵野	39	138	ラジオ体操、もちつき大会ほか	62,030
福東	20	276	ハイキング、もちつき大会ほか	90,560
南田園一丁目	24	133	夏まつり、キャンプほか	61,000
鍋一	13	187	夏まつり、もちつき大会ほか	72,160
鍋二	32	266	歩け歩け大会、もちつき大会ほか	88,500
玉川台	11	28	ラジオ体操、もちつき大会ほか	39,320
富士見台	28	125	キャンプ、もちつき大会ほか	59,340
福栄	12	142	ホテルまつり参加、キャンプほか	62,860
熊牛	39	271	ホテル祭り絵画展、バス旅行ほか	89,540
南田園三丁目	6	116	もちつき大会、子ども会歓送迎会ほか	57,480
南田園二丁目	9	102	ラジオ体操、もちつき大会ほか	54,590
牛一	12	94	盆踊り、ラジオ体操ほか	52,930
牛二	30	198	ラジオ体操、バス遠足ほか	74,440
原ヶ谷戸	27	287	夏祭り、資源回収ほか	92,840
志茂一	14	251	盆踊り、どんど焼ほか	85,400
志茂二	21	165	夏まつり、子ども会クリスマス会ほか	67,620
本町一	4	49	祭礼・盆踊り、もちつき大会ほか	43,650
本町二	12	23	ボーリング大会、もちつき大会ほか	38,280
本町三	4	14	祭礼・盆踊り、もちつき大会ほか	36,420
中央	4	27	バーベキュー、親子運動会ほか	39,110
本町六	15	55	祭礼・金魚すくい、もちつき大会ほか	44,870
本町七	19	236	ハイキング、ボーリング大会ほか	82,300
本町八第一	35	321	バーベキュー大会、子ども会歓送迎会ほか	99,870
本町八第二	22	338	もちつき大会、クリスマス会ほか	103,390
武蔵野台一丁目	56	367	川遊び、いもほり大会ほか	109,390
加美平住宅	9	124	青空コンサート、ラジオ体操ほか	59,140
永田	40	196	キャンプ、ラジオ体操ほか	74,030
長沢	17	203	親子運動会、ラジオ体操ほか	75,470
加美一	9	46	ラジオ体操、どんど焼きほか	43,040
加美二	23	318	ラジオ体操、どんど焼きほか	99,250
合 計	651	5,346		2,211,000

(4) 平成14年度青少年対策事業

ア 善行少年表彰

福生市善行少年表彰実施要綱に基づき（第一条 少年でその行為が他の模範となると認められるものを表彰し、広く少年の公德心の高揚と、より良き社会環境を作り、少年の健全な育成を図ることを目的とする。）個人2人、団体3団体に対し表彰を行った。

表彰を受けた、矢部 太一さん(福生一中2年)、伊佐 友宏さん(福生二中1年)は、福生消防少年団でのリーダーとしての活動が、福生警察署少年柔道会及び福生警察署少年剣道会は、児童遊園等の清掃活動を通しての環境美化及び全国地域交通安全運動等の広報活動により防犯非行防止に貢献した行為が、福生交通少年団福生分団は、全国交通安全運動等の広報活動及び福生七夕まつり等の行事に参加して交通安全思想の普及に貢献した行為が表彰の事由となった。

イ 「家庭の日」図画・作文募集

「家庭の日」に対する関心を高め、家庭の大切さを訴えるため、市内の小中学生を対象に図画・作文を募集した。入選作品についてはプチギャラリーに展示した。

募集期間 平成14年7月から9月

応募者数 図画 = 347点 作文 9点

入選者	図画	一席	サイデイク アリス	福生第四小学校4年
		二席	小野 美幸	福生第三小学校4年
		二席	ブレイマー萌仁香	福生第七小学校4年
		佳作	23点	
	作文	二席	大田 愛	福生第五小学校2年
		佳作	1点	

ウ 子ども議会（教育委員会版）の実施

市内各小学校の児童の代表に自分の住んでいる街や学校に対する希望や意見を発言してもらう場として、子ども議会（教育委員会版）を実施した。

日 時 平成14年10月12日（土）午後2時から

場 所 市議会議場

参加児童 19名

エ 青少年の海外派遣

中学生を海外に派遣し、その国の歴史を学び、文化及び風土に直接接し、人々と交流することによって、相互理解を深め、将来国際的な視野に立って活躍できる人材の育成を図ることを目的に実施した。

応募状況

学 校 名	男 子	女 子	計
福 生 第 一 中 学 校		6	6
福 生 第 二 中 学 校		2	2
福 生 第 三 中 学 校	8	6	14
私 立 中 学 校	1	5	6
計	9	19	28

派遣者（男子4名・女子8名）

氏 名	学 校	学 年
岡 田 奈 緒	福生第一中学校	2
野 島 利 紗	福生第一中学校	2
蒔 田 紗 耶 佳	福生第一中学校	2
木 下 和 泉	福生第二中学校	2
今 野 り ょ う	福生第二中学校	2
鈴 木 萌 香	福生第三中学校	2
明 智 弘 樹	福生第三中学校	3
伊 藤 尚 慶	福生第三中学校	3
小 林 直 幹	福生第三中学校	3
毛 塚 麻 希	吉祥女子中学校	2
加 藤 大 貴	桐朋中学校	3
金 美 穂 子	啓明学園中学校	3

派遣日程・場所 7月22日（月）～8月4日（日）14日間

アメリカ合衆国カリフォルニア州・ユタ州・アリゾナ州・ネバダ州

帰国報告会 8月14日（水）午後2時から

商工会館3階302会議室

オ 第9回福生市青少年の意見発表大会

中学生・高校生が日常生活を通じて考えていること、体験などを自由に発表することにより、自立心、創造性、社会性を育てる機会とするとともに、広く一般市民が中学・高校生の意識や行動に対する理解を深め、青少年健全育成の充実に資することを目的に実施した。

日 時 平成14年11月2日（土）午後2時から

場 所 市民会館小ホール

発 表 者 市内在住中学生・在学高校生17名

発表主題 自分を変える、日頃私が思う事、ボランティア推進策これでいいの、平和な世界を考える、自分を愛することの大切さ、高校生の在り方、クリーン作戦、世の中の考え、13歳の夏休み、おばあちゃん介護の甲斐もなく、あつてはならぬ戦争・報復、言葉と気持ち、盲導犬への理解、道、福生市、喫煙する人達へ、自分で取り組むことの尊さ

主 催 福生市青少年問題協議会・福生市教育委員会

カ 青少年育成講演会

日 時 平成15年1月25日(土) 午後2時から
場 所 さくら会館3階ホール
テ ー マ 少年相談に見る 子供の心 親の心
講 師 警視庁八王子少年センター副主査(臨床心理士) 荒 井 茂 氏
参 加 者 100人

キ 青少年育成討論会

日 時 平成15年3月15日(土) 午後2時から
場 所 福生第一中学校体育館
テ ー マ ここがへんだよ大人たち
内 容 大人たちこの部分が変わだということを中学生たちから自由に発言してもらう
参 加 者 中学生26人 大人34人

ク 青少協だよりの発行

青少年健全育成のための事業のPR・報告、その他各種の情報提供を行うため、年4回発行した。

ケ 青少年健全育成PR用品の配布

「いじめは絶対にゆるされないことです」というアピールを刷り込んだボールペンを各地区委員会を通じて配布した。

コ 第11回ふっさ輝きフェスティバル

「家庭の日」推進・拡大を目指し、実施した。

日 時 平成14年5月19日(日) 午前10時から午後3時
場 所 多摩川中央公園
参 加 者 13,000人
内 容 模擬店(やきそば、フランクフルト、ポップコーン、ジュース、かき氷、
フライドポテト、駄菓子)
軽スポーツ(バスケットボール、ピッチングボール、キックターゲット、
ペタンク)
ゲーム(輪投げ、パズル、ダーツ、ティーボール野球、パーフェクトストラ
イク バウンドテニス)
体験コーナー(数字合わせ、リムころがし、ウォーターショット、べいごま)
その他(小動物園、ミニSL、白バイ等展示、防犯PRコーナー、消防コー
ナー、起震車体験)
主 催 福生市青少年育成地区委員長会

サ 軽スポーツ&とん汁会

「家庭の日」推進・拡大を目指し、各地区委員会の協力のもと実施した。

日 時 平成14年11月17日(日) 午前10時から午後2時

場 所 多摩川中央公園

内 容 軽スポーツ(PK戦、ピッチングボール、パターゴルフ、遠投、ボーリング、
バスケットボール、なわとび、輪なげ、パズル、ドッジボール)
体験コーナー(べいごま、ペタンク、つなひき、だるま落とし、竹馬、紙ひ
こうき、バウンドテニス、ティーボール野球)
とん汁

参 加 者 約2,000名

主 催 福生市青少年育成地区委員長会

シ 視察研修

各地区委員長や関係者が見識を深め、非行防止、青少年の健全育成を目指し、視察研
修を実施した。

日 時 平成14年10月8日(火)

場 所 茅野市こども館

参 加 者 35人

ス その他の事業

○ キャンプ用品の貸出

○ 「家庭の日」推進事業

○ 夜間一斉パトロール(8月24日実施)

○ 環境浄化運動

9 集会施設の利用状況

(1) 扶桑会館利用状況

区分 月	集 会 室		和 室		小 会 議 室		保 育 室		合 計			
	申 請 件 数	人 数	申 請 件 数	人 数	申 請 件 数	人 数	申 請 件 数	人 数	申 請 件 数	人 数	使 用 料	
											件 数	金 額
4	56 ^件	1,232 ^人	23 ^件	292 ^人	14 ^件	106 ^人	24 ^件	234 ^人	117 ^件	1,864 ^人	30 ^件	41,500 ^円
5	45	765	25	250	22	190	29	312	121	1,517	33	46,100
6	44	844	24	322	22	185	26	231	116	1,582	30	45,400
7	47	781	25	415	21	196	27	288	120	1,680	19	34,000
8	46	758	19	247	12	107	14	158	91	1,270	16	21,800
9	42	667	27	324	19	167	23	219	111	1,377	29	49,300
10	49	810	30	402	18	174	26	266	123	1,652	24	43,400
11	40	590	26	260	16	120	27	296	109	1,266	25	33,100
12	38	625	22	237	15	132	20	238	95	1,232	27	29,600
15年1	40	688	27	314	17	140	21	241	105	1,383	44	57,500
2	48	792	26	253	19	201	33	346	126	1,592	42	61,100
3	47	771	31	313	23	210	30	406	131	1,700	36	45,300
合 計	542	9,323	305	3,629	218	1,928	300	3,235	1,365	18,115	355	508,100

(2) かえで会館利用状況

区分 月	集 会 室		和 室		小 会 議 室		合 計			
	申 請 件 数	人 数	申 請 件 数	人 数	申 請 件 数	人 数	申 請 件 数	人 数	使 用 料	
									件 数	金 額
4	37 ^件	366 ^人	44 ^件	470 ^人	21 ^件	256 ^人	102 ^件	1,092 ^人	19 ^件	20,100 ^円
5	32	227	43	311	15	121	90	659	21	27,000
6	35	411	43	370	26	244	104	1,025	20	19,800
7	23	398	33	427	22	350	78	1,175	11	14,700
8	22	172	32	222	17	164	71	558	15	20,100
9	32	452	34	284	23	333	89	1,069	13	15,000
10	28	262	36	341	22	189	86	792	15	17,700
11	25	346	37	358	20	220	82	894	11	11,700
12	22	304	32	298	19	224	73	886	10	9,600
15年1	26	334	24	166	15	234	65	734	17	17,400
2	28	209	29	196	18	105	75	510	14	11,100
3	25	277	40	342	18	165	83	784	17	12,600
合 計	335	3,758	427	3,815	236	2,605	998	10,178	183	196,800

10 展示施設の利用状況

市民文化の向上を図るため、広く市民の方に利用されるよう努めた。

(1) 利用状況

(建築延床面積 679.45㎡)

区分 月	第一展示室		第二展示室		第三展示室		合 計			使用料 (円)
	利 用 件 数	利 用 日 数	利 用 件 数	利 用 日 数	利 用 件 数	利 用 日 数	延利用 件 数	延利用 日 数	入場者数	
4	5 件	23 日	6 件	8 日	3 件	3 日	14 件	34 日	1,829 人	90,000 円
5	6	19	6	6	1	1	13	26	1,593	80,000
6	6	25	7	12	4	4	17	41	2,151	185,000
7	5	19	4	4	3	3	12	26	1,838	65,000
8	5	19	9	12	2	5	16	36	1,371	55,000
9	6	26	2	2	7	7	15	35	1,913	110,000
10	7	28	5	20	10	10	22	58	3,786	295,000
11	7	23	4	22	12	13	23	58	2,753	165,000
12	5	23	2	23	9	9	16	55	1,966	150,000
15年1	8	23	3	13	5	5	16	41	1,705	60,000
2	5	19	2	7	7	7	14	33	2,134	130,000
3	6	24	1	7	9	9	16	40	2,572	255,000
合 計	71	271	51	136	72	76	194	483	25,611	1,640,000

(2) 展示内容

(単位：件)

内 容	件 数	内 容	件 数
絵 画	21	陶 芸	2
写 真	13	さ つ き	2
手 芸	5	フラワーアレンジ	2
書 道	6	切 り 絵	1
美 術 工 芸	3	そ の 他	25